

4. 会議のムダをなくす

「会議を行っても活発な意見が出ない」、「何も決まることなくダラダラと時間が過ぎていく」など会議にムダが潜んでいることは多々あります。会議とは本来、クリエイティブな関係性を発揮し、問題解決や画期的なアイデアを生み出す場であるはずですが、ところが現実問題として、なかなか上手く会議を行えている会社は少ないのです。

● こんな会議はムダ!

上位者が一方的に話すだけの会議

部下はずっと下を向いたままで、ほとんど意見が出せない。



ダラダラ会議

活性化せずクリエイティブな意見が出ないまま、時間になっても結論が出ない。



POINT

日本の会議によく見られるのは、会議の3悪。会議の3悪とは、「議して決せず＝議論しても、結論を出さない」、「決して行わず＝結論を出しても、やらない」、「行って、責取らず」の3つをいいます。

「時間=コスト」の概念を持てば会議のムダは省ける

会議のムダとして一番問題なのは、ダラダラと時間ばかりが過ぎ、何も建設的な意見が出ない場合。ともすれば、1時間程度で済む内容が2時間、3時間となってしまうことも。

こんな場合の改善策は、「終了時間を設定すること」、「あらかじめ、議題を配布し、参加者各自が準備をした上で臨むこと」です。そうすれば、時間内に決めようという意思が働き、議論も活性化すること間違いなしです。

● 終了時間設定で「ダラダラ会議」をなくす

「ダラダラ会議」の理由

- 会議すること自体が仕事と錯覚している
- 時間もコストという意識がない
- 結論をなかなか出さないという日本人的な体質も影響
- いつ終わるかは、上位者の胸先三寸になっている



「ダラダラ会議」を解消するには……



その効果は?

- 決められた時間内に終わるので、残業が減る
- 締め切りがあるので、会議が活性化しやすい
- 終わりが見えているので、集中力が続く

終了時間を守るための工夫

- 参加者へ事前に議題を告知し、準備した上で参加してもらう
- 50分とか1時間15分などという半端な時間を設定
- 会議参加者以外から、「終了10分前です」などと内線電話で一報してもらう

POINT

会議に費やす時間にも会社は給料を支払っています。ですから、会議の時間が長引けば長引くほど余分なコストがかかっていることとなります。ダラダラ会議をなくすには、一人ひとりが「時間=コスト」という考えを持って会議に臨むことです。